

特定非営利活動法人STスポット横浜

平成28年度 事業報告書

平成29年3月31日

ごあいさつ

S T スポット横浜は「アート之力を現代社会に生かす」とのミッションに基づき活動を続けました。法人事務局では財政基盤の整備を続け、神奈川県より 2016 年 12 月 27 日付けで、条例個別指定特定非営利活動法人（指定 N P O 法人）として指定されるなど、安定した事業体制を作ることができました。

【S T スポット】

本年度より佐藤泰紀が 6 代目の館長として就任し、意欲的な事業展開を行いました。施設運営事業では、昨年度を超える稼働率で、安定した施設提供を行いました。創造発信事業では、主催事業として『アルプの音楽会』『中野成樹＋フランケンズ「カラカラ天気と五人の紳士」』『乳歯「知らせ #2」』『ライン京急 春の実演販売と解説』といった中堅のアーティストたちによる公演を展開し、舞台芸術の新たな展開の可能性を提示することができました。

【地域連携事業部】

教育普及事業では、横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業として、アート N P O や文化施設との連携を図りながら、138 の市内小・中学校、特別支援学校で、芸術家による授業を行いました。交流促進事業である、ヨコハマアートサイトの事務局運営では、民間で活動する市内 25 団体の地域文化活動のサポートを行いました。また、2 年目となる文化庁の戦略的芸術文化創造推進事業の成果を足場に、神奈川県との協働事業の提案を行い、次年度以降の活動展開の布石とすることができました。

今後とも、皆様方からの暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 S T スポット横浜
理事長 小川智紀

目 次

S T スポット	施設運営事業	2
	創造発信事業	4
地域連携事業部	教育普及事業	6
	交流促進事業	11
	2016（平成 28）年度財務諸表	15

STスポット 施設運営事業

1. 概況

- ・年間開館日／305 日（前年度：315 日）
- ・プログラム数／85 本（前年度：71 本）
- ・年間稼働日／282 日（前年度 284 日）
- ・利用団体数／39 団体（前年度：32 団体）
- ・稼働率（稼働日÷開館日）／92.5%（前年度：90.2%）
- ・開館率（開館日÷350 日）／81%（前年度：90%） *350 日＝ビル休館日およびメンテナンス休館を除いた年間稼働可能日数

2. 月別の状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	備考	
1 開館日	25	24	30	29	21	25	26	27	27	24	26	21	305		
2 稼働日	25	22	30	28	15	20	26	27	27	20	26	16	282		
種目別	一般利用	7	14	16	24	14	17	12	9	9	11	5	9	147	52.1%
	自主他	18	8	14	4	1	3	14	18	18	9	21	7	135	47.9%
ジャンル別	演劇	0	13	24	14	7	8	8	21	14	14	16	5	140	49.6%
	ダンス	6	0	0	2	0	3	0	0	0	0	8	5	24	8.5%
	稽古	12	7	3	4	3	5	1	3	3	5	1	1	50	17.7%
	講座	3	0	0	3	0	0	0	1	1	8	1	2	22	7.8%
	その他	4	2	3	5	5	4	17	2	2	0	0	3	46	16.3%
3 プログラム数	7	7	7	11	6	5	6	5	11	9	6	5	85		
種目別	一般利用	3	4	5	7	5	4	4	2	4	2	1	2	43	50.6%
	自主他	4	3	2	4	1	1	2	3	7	7	5	3	42	49.4%
4 稼働率	100%	91.7%	100%	96.6%	71.4%	80.0%	100%	100%	100%	83.3%	100%	76.2%	92.5%		

- ・STスポット総入場者数：9,990 名（前年度：9,931 名）
- ・利用団体観客数：4,479 名（前年度：4,491 名）
- ・利用団体スタッフ数：1,934 名（前年度：1,004 名）
- ・事業観客数：2,758 名（前年度：4,095 名）
- ・事業スタッフ数：819 名（前年度：854 名）

3. 利用団体一覧

団体名	タイトル	利用期間
瀧澤寛治	映画『海岸（横浜～三浦半島）』上映	2016年4月17日
TEAM ONE	『砂漠のトカゲのピクチャー・ブック』	2016年5月3日～5日
Y劇場	『K 県 M 半島 毘沙門断崖異聞 BOBO 岩』	2016年5月13日～15日
ホロロッカ	#3 『スカイ・エクレアをさがしてみよう』	2016年5月19日～23日
劇団 108	『せんのう。』	2016年6月15日～19日
相模舞台同盟	『SAGABU IN WONDERLAND』	2016年6月21日～22日
隣屋	第7回公演 『或夜の感想』	2016年6月23日～26日
劇団 Q+	第三回公演 『Outsider A』	2016年7月1日～3日
劇団ベリどっと	第二回公演 『シンガーでシンガーでライターだ!!』	2016年7月8日～10日
小林達明	『ソロライヴ』	2016年7月18日
劇団スクランブル	vol. 20 『unwelcome』	2016年7月19日～25日
MACOBA Dance Company	『ダンスのおはし vol. 4』	2016年7月28日～29日
奄美シマ唄の会	奄美芸能第一回奄美シマ唄の会	2016年8月7日
カミグセ	『カミグセ短編集 VOL. 1』	2016年8月22日～28日
T. Blend	act 3 『むすぶ… つながる…』	2016年9月2日～4日
妖精大図鑑	『YOKOHAMA Ammonite Night』	2016年9月6日～11日
わるちえ	CASE 1 『赤い薬』	2016年9月29日～10月2日
劇団かえる	第7回公演 『うちにくるって本気ですか?』	2016年10月8日～10日
芝居屋	『レンタルファミリー』	2016年10月28日～30日
Y. N. U Production	『HEAVEN CAN WAIT』	2016年11月3日～6日
舞台俳優塾	ラボ公演『女優』	2016年11月25日～27日
劇団ベリどっと	第3回公演 『あなたは今幸せですか?』	2016年12月9日～11日
劇団みつどもえ	『名付けてスーパーエキセントリックアルティメットお尻拭き拭きストラテジー』	2016年12月16日～18日
相模舞台同盟	『SAGABU IN WONDERLAND』	2016年12月19日～20日
演劇企画ゆとり	『marmotte』	2017年1月12日～15日
(劇) ヤリナゲ	『モニカの話』	2017年1月17日～22日
ひとりぼっちのみんな	『キャンプ茶毘』	2017年2月1日～5日
演劇活性化団体 uni	『パノラマ?』	2017年3月15日～19日

4. 施設内で行った主催、共催公演等

事業名	日時	入場料(円)	回数(回)	動員(名)	スタッフのべ(名)	出演者のべ(名)
主催公演						
アルプの音楽会	2016年10月20日～23日	2,500	6	169	46	74
中野成樹+フランケンズ 「カラカラ天気と五人の紳士」	2016年12月27日～30日	2,500	6	251	61	42
乳歯「知らせ #2」	2017年2月10日～13日	2,500	5	141	31	24
ライン京急春の実演販売と解説	2017年3月23日～24日	2,000	2	43	17	12
共催公演						
福留麻里『動きの幽霊』『あさっての東京』	2016年4月8日～10日	2,800	7	232	30	24
ロク「すれちがう、渡り廊下の距離って」	2016年11月10日～20日	2,800	16	834	72	56
ワークショップ/講座						
山本卓卓ワークショップ	2016年4月1日～3日	3,500	3	39	6	3
「デルサルト・システム」ワークショップ	2016年7月10日	1,000	1	14	2	2
緊急ミーティング: 政治、いや芸術の話しよう	2016年8月4日	0	1	57	3	6
山縣太一ワークショップ	2016年12月5日、8日、12日、15日	3,000	4	38	11	4
中高生のためのワークショップ grow	2016年12月23日、24日、1月7日、8日	500	4	14	10	4
提携公演						
山縣太一「ドッグマンノーライフ」	2016年6月1日～13日	2,500	14	493	52	104
かもめマシーン「俺が代」	2016年2月17日～19日	2,000	3	114	20	4
無隣館若手自主企画 vol.21 松村企画「こしらえる」	2016年2月22日～26日	2,800	7	329	42	63
合計			79	2,768	403	422

- ・ 事業総入場者：3,587名（前年度：4,949名）
- ・ 事業観客数：2,768名（前年度：2,574名）
- ・ 事業スタッフ数：825名（前年度：854名）

STスポット 創造発信事業

1. 創造発信事業



1-1 主催公演企画

Spot Light Project vol.1

中野成樹+フランケンズの短々とした仕事5 『カラカラ天気と五人の紳士』

2016年12月27日～30日

作：別役実 演出：中野成樹 全6回 動員251人

来年度30周年を迎えるSTスポットという劇場で、20年近く前に活動していた演出家が、20年以上前に上演された戯曲と出会うきっかけとなった。舞台芸術の未来を考えるために過去を遡るということを考えた本企画は、U-25券を設定したことにより、多くの演劇を学ぶ学生が来場し、過去と触れるきっかけになった。



Spot Light Project vol.2

乳歯『知らせ #2』

2017年2月10日～13日 全5回 141人

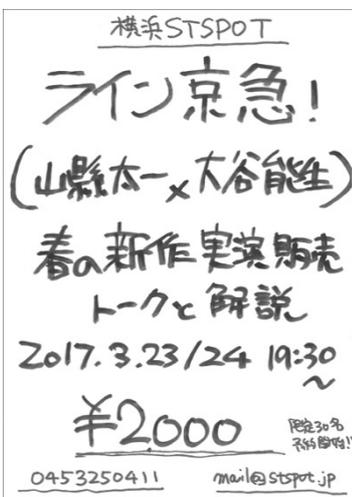
コンセプト・構成：乳歯（神村恵 津田道子）

ライン京急『春の新作実演販売 トークと解説』

2017年3月23日～24日 全2回 43人

作・演出・出演：ライン京急（山縣太一 大谷能生）

異なるジャンルのアーティスト同士がコラボレーションをすると何が起るのか。これはいつの時代も問われるものだと思う。本企画では、音楽家が作った音楽の中で踊る、美術家の作成した美術の中で踊る、ということには収まらなかった。アーティスト同士が密にコミュニケーションを取ることによって、それぞれの立場にとらわれることなく創作に向き合う時間を共有でき、その経験は彼らの普段の活動にフィードバックされるだろう。



1-2 横浜音祭り関連企画

アルプの音楽会 音の顔と性格 alp' s concert sound face, sound case

2016年10月20日～23日 全6回 169人

音楽・出演：アルプ ゲストパフォーマー：福留麻里（ダンサー・振付家） 大崎清夏（詩人）

かつてはライブハウスとしても多彩な音楽イベントが行われていたSTスポット。横浜音祭り2016の共催企画として起ち上がった本企画は、現代音楽とコンテンポラリーダンス、現代詩がどのように同じ時空間に共存するのかを問う実験であり、それぞれのジャンルに本質を問い直すきっかけとなった。





1-3 共催・提携・協力事業

- (1) 福留麻里企画『動きの幽霊』『あさっての東京』 構成・演出 福留麻里
共催 2016年4月8日～10日 全7回 動員232人
- (2) 山縣太一『ドッグマンノーライフ』 作・演出：山縣太一
提携 2016年6月1日～13日 全14回 動員493人
- (3) ロロ『すれちがう、渡り廊下の距離って』 作・演出：三浦直之
共催 2016年11月10日～20日 全16回 動員834人
- (4) かもめマシーン『俺が代』 演出：萩原雄太
提携 2017年2月17日～19日 全3回 動員114人
- (5) 無隣館若手自主企画 vol.21 松村企画『こしらえる』 作・演出：松村翔子
提携 2017年2月22日～26日 全7回 動員329人



2. 人材育成事業

2-1 ワークショップ事業

- (1) ワークショップ「場所からうまれる／ニュートラルのレンジ」 講師：山本卓卓（範宙遊泳）
2016年4月1日～3日 参加者39人
- (2) 「デルサルト・システム」ワークショップ 講師：神村恵 ゲスト：木村寛
2016年7月30日 参加者14人
- (3) 山縣太一ワークショップ 講師：山縣太一
2016年12月5日、8日、12日、15日 参加者38人
- (4) 中高生のためのワークショップ grow 講師：白神ももこ、西尾佳織
日程：Aパート・2016年12月23日、24日、Bパート・2017年1月7日、8日
対象：Aパート8人 Bパート12人
進行：Aパート・白神ももこ（ダンサー、振付家）、Bパート・西尾佳織（演出家）
※横浜市高等学校演劇連盟との共同主催事業

2-2 ネットワーク構築事業

NPO、大学との協働、直接的な社会貢献プログラムの可能性について調査、実践します。

- ・ 桐蔭横浜大学 サービス・ラーニング 2名受け入れ
- ・ 横浜国立大学 平倉圭准教授の講義 全3回実施

地域連携事業部 教育普及事業

1. 横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業

横浜市文化観光局、横浜市教育委員会、横浜市芸術文化振興財団と協働して、文化施設・芸術団体と市内の小・中・特別支援学校が連携して芸術文化の取組みを行うために「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」を設置し、事務局代表団体として事業の進行管理を行いました。

直近 5 年間の実施校数の推移 (単位: 校)



ジャンル/年度	24		25		26		27		28	
	体	鑑	体	鑑	体	鑑	体	鑑	体	鑑
音楽	16	11	17	18	26	19	20	20	23	24
美術	8	5	11	5	13	9	19	1	16	2
演劇	9	1	8	1	7	3	8	4	15	3
ダンス	11	0	13	1	22	0	26	0	20	1
伝統芸能	5	7	8	10	18	17	21	17	17	17
全体	49	24	57	35	86	48	94	42	91	47
合計	73 校		92 校		134 校		136 校		138 校	



直近 5 年間の実施校種と対象者数 (単位: 校)

校種/年度	24	25	26	27	28
小学校	63	76	112	122	121
中学校	4	8	12	6	8
特別支援学校	6	8	10	8	9
合計	73 校 7,623 人	92 校 9,517 人	134 校 14,225 人	136 校 14,088 人	138 校 14,869 人

担当コーディネーター (39 団体)

【アートNPOなど、民間の芸術団体】12 団体：企業組合 Media Global、よこはま音楽広場実行委員会、NPO 法人子どもに音楽を、NPO 法人横浜こどものひろば、NPO 法人芸術家と子どもたち、ART LAB OVA、民族歌舞団荒馬座、アートの時間、NPO 法人 Offsite Dance Project、認定 NPO 法人あっちこっち、NPO 法人横浜シティオペラ、公益財団法人芸術文化振興財団 協働推進グループ

【地域の文化施設】26 団体：青葉区民文化センター フィリアホール、泉区民文化センター テアトルフォンテ、栄区民文化センター リリス、神奈川区民文化センター かなっくホール、港南区民文化センター ひまわりの郷、旭区民文化センター サンハート、鶴見区民文化センター サルビアホール、戸塚区民文化センター さくらプラザ、緑区民文化センター みどりアートパーク、磯子区民文化センター 杉田劇場、大倉山記念館、急な坂スタジオ、久良岐能舞台、象の鼻テラス、長浜ホール、吉野町市民プラザ、岩間市民プラザ、横浜市民ギャラリー、横浜市民ギャラリーあざみ野、横浜美術館、横浜にぎわい座、横浜赤レンガ倉庫 1 号館、横浜みなとみらいホール、横浜能楽堂、関内ホール、神奈川県立音楽堂

【事務局構成団体】1 団体：NPO 法人 S T スポット横浜

(1) 平成 28 年度横浜市芸術文化教育プログラムの実施、アーティストの調整

学校において子どもたちが創造的な体験できるプログラムを、コーディネーター、アーティストおよび教師が協力して実施できるように具体的な調整を行いました。実施期間中、事業が円滑に実施されるよう、各学校における進捗を管理しました。

(2) 教師および文化芸術関係者等のためのワークショップ



a. 教師のためのワークショップ

日時：2016 年 7 月 25 日、26 日、27 日 10 時 15 分～16 時 30 分

会場：横浜美術館

25 日は中・高等学校美術作科研修として、26、27 日は小学校図画工作科研修として実施。横浜市内の小・中学校、高等学校の主に図画工作科、美術科の教員 69 人が参加。横浜美術館教育普及チームのコーディネートにより、中・高等学校では子どもの造形のあり方について、小学校では美術館を舞台にした鑑賞についての研修を行いました。



b. 文化芸術関係者のためのワークショップ「コーディネーター会議」

日時：2016 年 7 月 1 日 会場：戸塚区民文化センターさくらプラザ／リハーサル室

内容：今年度に学校でのプログラムを担当するコーディネーターがあつまり情報交換を行う「コーディネーター会議」が行われ、総勢 32 名が集まりました。担当する学校とのプログラムを調整する際に起きる課題の整理や、過去に蓄積したプログラムのノウハウの情報交換を行い、少人数でのディスカッションを行いました。

(3) 平成 29 年度横浜市芸術文化教育プログラム実施校の募集

平成 29 年度実施に向けての要項・募集案内を作成し、横浜市内の市立小・中・特別支援学校に広報を行いました。



(4) 芸術文化教育プラットフォーム事務局の運営、相談窓口、データ蓄積、広報

芸術文化教育プラットフォームの事務局構成団体である、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、教育委員会、文化観光局と協力し、事務局を運営しました。より効果的なプログラムを実施するために、学校やアーティストからの相談を受けました。また、過去の実績の蓄積や、広報（記者発表、WEB 更新等）を行いました。独自ドメインを取得し、年間を通して、ホームページを運営しました。また事業の進捗にあわせて、定期的に横浜市政記者クラブ等に記者発表を行い、教育委員会を通じて市内の小・中学校、特別支援学校に対してニュースレターを発行しました。

横浜市芸術文化教育プラットフォーム HP <http://y-platform.org/>

(5) 学校プログラムの実施



a. 横浜市立都筑小学校+鈴木潤（音楽）

日程：2016年11月10日、11日、24日、25日（全4日間）

対象：個別支援学級10人

学校からの要望：知的や発達障害のある子どもたちに対して、ひとりひとりの音を楽しみつつ、全体としての一体感を得られるような活動。



内容：即興演奏を中心に子どもたちのそれぞれの表現を引き出す。

成果：決められた曲を演奏するのではなく、自由な時間をたっぷり取って、子どもたちから出てくる音をみんなで堪能する時間となりました。それぞれのペースで演奏をしていたり、他のこの音を聞いていたり、一見するとバラバラに感じられる中でも調和が生まれ、のびのびとした音楽を楽しむことができました。

※平成28年度文部科学省「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験」と連動して実施。



b. 横浜市立相沢小学校+井上大輔（ダンス）

日程：2016年11月28日、12月13日、20日、2017年1月11日、23日（全6日間）

対象：5年生2クラス65人

学校からの要望：ダンスや演劇を自分たちで作るような活動。自分のアイデアが取り入れられていく楽しさや、みんなで一つのものを作り上げていく難しさや面白さを体験させたい。正解を求める活動ではなく、自由な発想が生かされる経験をさせたい。

内容：自分たちの動きからダンスをつくり、全校の前で発表を行う。

成果：初めてコンテンポラリーダンスと触れ合う子どもたち。アーティストの動きに驚きながらも、自分の名前から動きをつくり、自分だけのダンスをつくることができました。学年のテーマであるひまわりを題材に、アーティストとともに構成を考え、全校の前で発表することができました。

※平成28年度文部科学省「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験」と連動して実施。



c. 横浜市立港南台ひの特別支援学校・小学部+大石将紀（音楽）

日程：2017年1月19日、20日、26日（全3日間）

対象：小学部90人

学校からの要望：知的障害のある小学生に対して、生の演奏や映像などを鑑賞し、子どもたちの興味を高めたい。視覚的に見て楽しめる部分があるとよい。

内容：ミニワークショップを学年ごとに行い、コンサートで親しみを持って演奏を聞く。

成果：サクセスという普段あまり接することのない楽器を存分に味わうことができました。学年



ごとのミニワークショップでは 20 分という短い時間ではありましたが、コンサートへの期待感を高める機会となりました。コンサートでは、ピアノとダンス、映像も加わり、さまざまな感覚を刺激するものとなりました。

※平成 28 年度文部科学省「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験」と連動して実施。



d. 横浜市立港南台ひの特別支援学校・中学部+花崎攝（演劇）

日程：2017 年 2 月 3 日、8 日、15 日（全 3 日間）

対象：中学部 3 年生 2 クラス 13 人

学校からの要望：知的障害のある中学生たちに対して、音楽的な取り組みと、演劇的な取り組み両方を合わせたものをやりたい。体験を通して、そこで起こる小さな発見や不安に出会ったりして、表現する楽しさを感じてほしい。

最終的には小さな発表を行えたら。

内容：手遊びうたをモチーフに、小さな演劇作品をつくり、体験する。

成果：身体と言葉の両方を楽しめる手遊び歌を題材に選び、船に乗って嵐に遭遇しながらも島たどり着く、冒険のお話をみんなでつくりました。全体として進めていくことで、物語をみんなで共有することができました。担当の先生も積極的に関わってくださり、舞台セットもつくっていただいたので、より深く物語を理解することができました。



e. 横浜市立上菅田特別支援学校+井上尚子、柴山拓郎（美術、音楽）

日程：2017 年 1 月 17 日、24 日、31 日、2 月 7 日（全 4 日間）

対象：高等部そうごうコース 16 人

学校からの要望：「感覚を媒体とした身体意識の形成」「社会性、認知、コミュニケーション能力の拡大」を重点に、楽器の生演奏や動き、光など、重度重複の子どもたちに楽しめる内容。

内容：即興的な取り組みをもとにした美術と音楽の活動。

成果：重度重複障害を持つ生徒に対して、嗅覚と聴覚、両方からのアプローチを試みました。オレンジ、コーヒー、お茶などの素材に触れ、それぞれの形状と香りを楽しみました。あわせて、子どもたちや教員の出す音や声を編集し、経過が分かるような作品が出来上がりました。

※平成 28 年度文部科学省「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験」と連動して実施。



3. その他の事業

(1) インターンシップ等の受入れ

大学生 2 名を受け入れ、神奈川県内に拠点を持つ NPO 法人等との連携などを強めることができました。

※NPO 法人アクションポート横浜との協働。

(2) レクチャー、シンポジウムへの出演など

・レクチャー：アクションポート横浜インターンお見合い会（日程：2016 年 6 月 5 日／会場：社会教育コーナー）＝小川智紀が出演。

・レクチャー：地域創造ステージラボ公立ホール・劇場マネージャーコース（日程：2016 年 10 月 12、13 日／会場：地域創造）＝小川智紀が出演。

・TPAM グループ・ミーティング：「地域から考える横浜の芸術文化」（日程：2017 年 2 月 14 日／会場：BankART1929）＝田中真実が出演。

・レクチャー：10-BOX 舞台芸術見本市「アウトリーチってなあに？」（主催：公益財団法人仙台市市民文化事業団／日程：2017 年 3 月 4 日／会場：10-BOX）＝小川智紀が出演。

・レクチャー：「子どもの生活に文化権を」（主催：NPO 法人子ども劇場西多摩／日程：2017 年 3 月 5 日／会場：青梅市福祉センター）＝小川智紀が出演。

・レクチャー：文化芸術創造都市・横浜プラットフォーム・ミーティング「横浜の未来にひらく 100 の種」（主催：横浜市文化観光局、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／日程：2017 年 3 月 28 日／会場：北仲 BRICK（仮設））＝小川智紀が出演。

・

地域連携事業部 交流促進事業

1. ヨコハマアートサイト 2016 事務局運営

市民やNPO団体等が主体となって、市内の地域資源を活用し、地域住民と協力して継続的な事業を行っていく文化芸術活動の支援を行いました。市全域でのネットワークづくりやコミュニティの活性化を図るため、横浜市文化観光局、横浜市芸術文化振興財団と協働してヨコハマアートサイト事務局を構成し、事業を進行しました。

(1) 採択事業の選考、視察、補助金交付



補助金の交付対象事業を選考（申請 56 件中 27 件を採択、25 件が参加）、事業実施前・実施後におけるヒアリングを行うとともに、各団体の活動状況の視察を行いました。また、補助金交付に関する事務や、交付対象団体の事業運営に関する相談に応じるなど、さまざまなかたちでの支援を行いました。



ヨコハマアートサイト 2016 参加団体（団体数：25 団体、助成総額：16,774,900 円）

団体名	事業名	実施区
アーティストネットワーク+コンパス	「会社まるごとギャラリー2016」	金沢区
特定非営利活動法人アーモンドコミュニティネットワーク	アーモンド・凸凹コミュニティアート・プロジェクト	都筑区
NPO 法人打楽器コンサートグループ・あしあと	こころに響く打楽器作っちゃおう	中区、金沢区、南区、保土ケ谷区
NPO 法人あっちこっち	子どものためのアート・音楽・ダンスをいっぺんに楽しむわくわくワークショップシリーズ Vol. 5	戸塚区、中区
居場所「カドベヤで過ごす火曜日」運営委員会	カドベヤ・オープン DAY-つどおう・かたろう・つながろう	中区
映像グループローポジション	映像グループローポジション 10 周年記念・特集上映『横浜のドキュメンタリー映画作家たち』	中区
大岡川アートプロジェクト実行委員会	大岡川アートプロジェクト「光のぶるむなあと 2016」	南区
NPO 法人 Offsite Dance Project	本牧アートプロジェクト 2016	中区
神奈川区魅力さかせ隊	みんなのトンネルプロジェクト	神奈川区
金沢文庫芸術祭実行委員会	第 18 回金沢文庫芸術祭	金沢区
紙芝居文化推進協議会	第 17 回手づくり紙芝居コンクール	西区
GROUP 創造と森の声	森ラボ 2016『横浜の森美術展 9』	緑区
ぐるぐるはためきアート展実行委員会	ぐるぐるはためきアート展 白楽・妙蓮寺編	神奈川区、港北区
さかえ egao プロジェクト	さかえ egao フェスティバル	栄区
さかえ de つながるアート	さかえ de つながるアート 2016	栄区
新潮劇院/一般財団法人 日本京劇振興協会	こども京劇プロジェクト	市内全域
特定非営利活動法人スローレーベル	障害の有無を越えて参加できるインクルーシブな公開アートアカデミーの開催	中区
たまブラー座まちなかパフォーマンスプロジェクト	育ちあいフェスタ 2016「BAMBOOM (バンブーン)」	青葉区
NPO 法人都筑民家園管理運営委員会	都筑・遺跡公園・民家園アート月間 2016	都筑区
ひかるどうぶつえん実行委員会	第三回金沢動物園映像祭「ひかるどうぶつえん 2016」	金沢区
NPO 法人ぶかぶか	みんなでワークショップ	緑区
横浜栄写友	PICTURE THIS: 横浜インターナショナルユースプロジェクト	市内全域
横浜下町パラダイスマつり実行委員会	横浜下町パラダイスマつり 2016+よこはま若葉町多文化映画祭 2016	中区
横浜・藤棚シネマ商店街実行委員会	横浜・藤棚シネマ商店街	西区
リビングアートネットワーク	障害者も健常者も分け隔てなく生きた芸術を目指して拡げようリビングアートネットワーク	港北区



(2) ヨコハマアートサイトラウンジなど

採択された事業などのネットワークづくりを支援するため、アートと地域のかかわりについて考える・交流する場「ヨコハマアートサイトラウンジ」を4回開催しました。このほか、助成採択団体の事業報告会を「地域文化を考える3時間」として、3月12日に横浜美術館円形フォーラムで開催しました。

ヨコハマアートサイトラウンジ

回	企画名	テーマ	開催日	主な出演者(敬称略)	会場	協働団体
10	海外における障害とアートの今を学ぶ	諸外国における「障害とアート」の現状	2016年10月15日	田中未知子(瀬戸内サーカスファクトリー代表)、難波祐子(国際交流基金文化事業部企画役)、栗栖良依(ヨコハマ・パラトリエンナーレ総合ディレクター)	象の鼻テラス	特定非営利活動法人スローレーベル
11	子どもがアートと育つ場所	子どもが育つ過程でのアートや体験活動の重要性	2016年11月4日	奥田宏明(特定非営利活動法人教育支援協会南関東 フリースペースみなみ)、半谷麻意子(NPO法人打楽器コンサートグループ・あしあと)、池野ひとみ(NPO法人打楽器コンサートグループ・あしあと)	横浜市技能文化会館	NPO法人打楽器コンサートグループ・あしあと
12	ものづくり～工場とアートワークの関わり～	工場とアートワークのこれから	2016年11月12日	秋山桂子(山陽印刷(株)代表取締役/アーティストネットワーク+コンパス代表)、坪倉伸明(株)坪倉興業代表取締役)、田中清隆(アーティスト/アーティストネットワーク+コンパスプロデューサー)、本多竜太(関東プリンテック(株)常務取締役/PIA フェスタ実行委員メインプロデューサー)	山陽印刷(株)	アーティストネットワーク+コンパス
13	アーツカウンシルと地域文化	アーツカウンシルの取組と地域文化の関わり	2017年2月16日	佐藤千晴(大阪アーツカウンシル統括責任者)、佐藤李青(公益財団法人 東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー)、杉崎栄介(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 広報 ACY グループ担当リーダー プログラム・オフィサー)	BUKATSUDO	

(3) 季刊ヨコハマアートサイト

横浜の地域文化を考える・応援するための冊子「季刊ヨコハマアートサイト」を発刊し、横浜市内の多様な文化のかたちを伝えました。3カ月に1回のペースで定期刊行を続けています。

号	特集	発行月	主に取り上げた事業や場所
8	川からはじまる(流域文化とアート)	2016年6月	境川中島橋(瀬谷区)、大岡川アートプロジェクト(南区)、元木琴平社(泉区)、工業技術支援センター(金沢区)、かねこふあむ(戸塚区)、たまブラー座まちなかパフォーマンスプロジェクト(青葉区)、横浜都市発展記念館(中区)、青葉区民謡民舞大会(青葉区)、みどりぶんぶんマルシェ(緑区)
9	よりみち映画館(映画館とアート)	2016年9月	横浜・藤棚シネマアートフェスタ 2016(西区)、横浜シネマリン(中区)、ヨコハマらいぶシネマ(中区)、陽の当たる道(旭区)、八坂神社お札まき(戸塚区)、横浜市民ギャラリーあざみ野(青葉区)、横浜市歴史博物館(都筑区)、スタジオクロちゃん(港南区)
10	子どもが主役(子育て環境とアート)	2016年12月	こころに響く打楽器つくっちゃお(旭区)、子育ては爆発だぁ(中区)、横浜こどものひろば(西区)、アーモンド・凸凹コミュニティアート・プロジェクト(都筑区)、鶴見銀座商店街(鶴見区)、横浜の森美術展(緑区)、みんなのトンネルプロジェクト(神奈川区)、たまブラー座まちなかパフォーマンスプロジェクト(青葉区)
11	ものづくりの場所から(工場/工房とアート)	2017年3月	アーティストネットワーク+コンパス(金沢区)、寺家木工舎(青葉区)、横浜美術大学「鞆祭り」(青葉区)、メリ〜ゴラウンド研究所(中区)、上大岡駅(港南区)、都筑民家園(都筑区)、弁天橋駅前イルミネーション(鶴見区)、PICTURE THIS:横浜インターナショナルユースプロジェクト(中区)、第三回 表現の市場



3. 福祉分野における芸術文化活動の基盤整備事業



平成 28 年度文化庁戦略的芸術文化創造推進事業「障害と身体表現をめぐる研究会」を実施しました。ワークショップ、事例調査、勉強会・報告会の 3 つを中心に事業を展開しました。

(1) ワークショップ：福祉施設などにおけるワークショップを実施。

a. 地域活動支援センターひふみ+ドウイ（小野亜斗子、轟岳）（美術）

日程：2016 年 7 月 6 日、20 日、27 日（全 3 日間）

内容：ひふみは、2011 年に横浜市神奈川区六角橋にできた施設です。精神障害のある人が地域の中で安心して生活するための居場所づくりを目指しています。「カフェを開始するにあたって、施設のアピールをするために看板をつくりたい」という要望をうけて、造形ユニット・ドウイのみなさんと 4 回、お伺いしました。当初はアーティストが主に製作し、お手伝いをするようなイメージでいたのですが、つくり方を工夫することで、利用者のみなさんも積極的に関わってくださいました。その結果、自分たちのものを自分たちでつくっている実感を持つ取組みとなりました。

b. 障害者地域活動ホームみどり福祉ホーム+上村なおか（ダンス）

日時：2017 年 2 月 6 日、27 日、3 月 6 日（全 3 日間）

内容：みどり福祉ホームは、1986 年に横浜市緑区十日市場町に完成した施設です。横浜北部の重度重複障害者の日常を支えています。同施設には、2017 年 2 月～3 月に、ダンサー・振付家の上村なおかさんが 3 回にわたって訪問しました。みどり福祉ホームに通う利用者のみなさんは、活動のペースにより「にじグループ」「ゆめグループ」のどちらかに属しています。このため、1 日に 2 回ワークショップを開催。上村さんは利用者のみなさんと身体を使ったやり取りを楽しみながら、動きやダンスをつくりました。

c. 横浜市立都筑小学校+鈴木潤（音楽）

日程：2016 年 8 月 22 日（全 1 回）

内容：特別支援学級を担当する教員に対してのワークショップを行いました。特別支援学級に向けた研修の中でも、図画工作や美術にまつわるものはやられているそうなのですが、今回は、なかなか機会の少ない音楽をテーマに行いました。先生方が自由に演奏を楽しんでいる様子が印象的でした。

(2) 事例調査

全国および神奈川県内・横浜市内での先進事例の調査を行いました。

- ・あいちトリエンナーレ、スタ☆タン：認定 NPO 法人クリエイティブサポートレッツ（2016 年 10 月 8、9 日）
- ・神奈川県民ホール担当者と障害者への対応について意見交換（2016 年 10 月 17 日）
- ・ニコゼミ、BUNNA 稽古：認定 NPO 法人ニコちゃんの会（2017 年 1 月 14 日、15 日）
- ・厚生労働省「障害者の芸術活動支援モデル事業実践報告会」、アール・ブリュット国際フォーラム 2017、奈良県障害者芸術祭 HAPPY SPOT NARA、Dance&People 活動報告会+公開ミーティング

「障害を持つアーティストがナビゲートするワークショップをめぐって」（2017年2月10日、11日、12日）

・パフォーマンス公演砂連尾理「猿とモルターレ」、ポーダレス・アートミュージアムNO-MA
「大いなる日常」（2017年3月10日、11日）

（3）勉強会・報告会

障害にまつわることを多方面から考えるための勉強会を5回、ワークショップを受け入れてくださった施設の職員を招いての報告会を1回実施しました。また、活動の記録をまとめた冊子を作成しました。

回	企画名	開催日	主な主催者（敬称略）	内容	人数	会場
1	子どもと子どもが交わること	2016年12月19日	久保田菜々子（NPO 法人芸術家と子どもたち）	特別支援学級での実践の紹介を通して、障害のある子どもたちとの芸術を介した関わりについての議論を行った。	23人	STスポット
2	さまざまな人が集う場所	2016年12月17日	笹田夕美子（浜松市発達医療総合福祉センター / 臨床心理士）	障害のあるなしに関わらず、多様な人たちが集まれる場について検討した。	9人	急な坂スタジオ
3	重度重複障害のある子どもたちと美術・音楽の関わり	2017年1月30日	井上尚子（美術家） 柴山拓郎（音楽家）	重度重複障害のある子どもたちとの芸術の取組みの可能性について、デモンストレーションを交えて、議論を深めた。	27人	STスポット
4	知的障害のある子どもたちと演劇の関わり	2017年2月28日	花崎攝（演出家）	知的障害のある子どもたちとの芸術の取組みの報告。会場ともやり取りをしながら、現場の知見について共有した。	43人	STスポット
5	ダンスと演劇から老いを見つめる	2017年3月26日	砂連尾理（ダンサー・振付家） 西尾佳織（劇作家・演出家）	「老い」に焦点をあて、ダンスと演劇から見た老い、そして身体について議論を深める。	28人	STスポット
報告会	福祉施設での実践報告～芸術家とともに過ごす時間～	2017年3月8日	中村麻美（地域活動支援センター ひふみ 施設長） 荒木傑（障害者地域活動ホーム みどり福祉ホーム 所長）	STスポット横浜のコーディネートにより、実際に芸術家とのワークショップを実施した福祉施設職員の方を招きし、取組みの内容や実施を通して感じたことなどを共有した。	21人	STスポット

活動計算書

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

科目	金額 (単位:円)		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	140,000		
フレンドシップ会員受取会費	16,000		
入会金	0	156,000	
2. 受取助成金等			
受取助成金	6,975,000		
受取補助金	67,014,900	73,989,900	
3. 事業収益			
事業収入	4,457,384		
利用協力費	4,635,942		
受託費	0	9,093,326	
4. その他収益			
雑収入	353		
その他の収入	4,095	4,448	
経常収益計			83,243,674
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給与手当	21,351,082		
通勤費	1,379,768		
臨時雇賃金	2,080,000		
法定福利費	3,149,880		
人件費計	27,960,730		
(2) その他経費			
諸謝金	5,732,656		
委託費	32,039,677		
制作費	324,445		
消耗品費	1,012,716		
印刷費	2,572,068		
広報宣伝費	3,698,019		
旅費交通費	1,322,027		
支払手数料	105,037		
地代家賃	1,595,915		
会場借上費	273,308		
通信費	1,384,812		
会議費	1,559,387		
設備費	598,837		
リース料	271,548		
租税公課	297,232		
その他経費計	52,787,684		
事業費計		80,748,414	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	173,250		
通勤費	4,625		
法定福利費	22,681		
退職給与繰出金	1,000,000		
人件費計	1,200,556		
(2) その他経費			
諸謝金	529,200		
租税公課	0		
設備緊急対策金	200,000		
その他経費計	729,200		
管理費計		1,929,756	
経常費用計			82,678,170
当期経常増減額			565,504
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			565,504
法人税、住民税及び事業税			74,500
当期正味財産増減額			491,004
前期繰越正味財産額			12,017,005
次期繰越正味財産額			12,508,009

財務諸表の注記

特定非営利活動法人STスポット横浜

平成29年3月31日現在

1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。
 - (1) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。
 - (2) 引当金の計上基準
・退職給与引当金
将来の退職金支給のため、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
・設備緊急引当金
設備の緊急補修などに備え、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
 - (3) 準備金の計上基準
・企画連携事業準備金
今後の事業開発に向けて、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
2. 事業費の内訳
事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	施設運営事業	創造発信事業	教育普及事業	交流促進事業	事業費計
(1) 人件費	2,578,045	4,032,325	7,310,710	7,430,002	21,351,082
給与手当	294,798	461,092	430,208	193,670	1,379,768
通勤賃金	545,289	852,887	681,824	0	2,080,000
臨時雇賃金	430,443	673,257	1,074,038	972,142	3,149,880
法定福利費	3,848,575	6,019,561	9,496,780	8,595,814	27,960,730
(2) その他経費	0	2,876,576	953,342	1,902,738	5,732,656
諸謝金	0	0	16,564,777	15,474,900	32,039,677
委託作費	0	274,445	0	50,000	324,445
消耗品費	58,529	91,543	840,055	22,589	1,012,716
印刷費	0	347,961	1,405,523	818,584	2,572,068
広報伝費	0	198,019	0	3,500,000	3,698,019
旅交通費	58,960	92,217	531,923	638,927	1,322,027
支払手数料	13,638	21,330	46,768	23,301	105,037
地代賃	143,632	159,591	632,925	659,767	1,595,915
会場借上費	0	89,808	16,720	166,780	273,308
通信費	91,136	142,545	557,326	593,805	1,384,812
会議費	202,322	316,451	721,014	319,600	1,559,387
設り備費	212,180	331,869	0	54,788	598,837
リース料	105,904	165,644	0	0	271,548
租税公課	0	290,631	4,201	2,400	297,232
その他経費	886,301	5,398,630	22,274,574	24,228,179	52,787,684
合 計	4,734,876	11,418,191	31,771,354	32,823,993	80,748,414

3. 使途等が制約された寄付等の内訳
使途が制約された補助金等の内訳は以下の通りです。

(単位:円)

名称	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
横浜市/STスポット運営補助金	0	6,100,000	6,100,000	0	
横浜市/芸術文化教育プログラム推進事業補助金	0	32,440,000	32,440,000	0	
横浜市/地域文化サポート事業プラットフォーム補助金	0	27,974,900	27,974,900	0	
日本芸術文化振興会/芸術文化振興基金 舞台芸術等の創造普及活動	0	898,000	898,000	0	
横浜アーツフェスティバル実行委員会/横浜音祭り2016補助金	0	500,000	500,000	0	
文部科学省/児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験	0	1,500,000	1,500,000	0	
文化庁/ 戦略的芸術文化創造推進事業	0	4,577,000	4,577,000	0	
合計	0	73,989,900	73,989,900	0	

貸借対照表

特定非営利活動法人S T スポット横浜

平成29年3月31日現在

科 目	金 額 (単位：円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	25,057,828		
未収入金	898,000		
仮払金	80,000		
流動資産合計		26,035,828	
2. 固定資産			
(1)投資その他の資産			
敷金	1,260,000		
投資その他の資産計	1,260,000		
固定資産合計		1,260,000	
資産合計			27,295,828
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	584,610		
仮受金	2,025,100		
流動負債合計		2,609,710	
2. 固定負債			
企画連携事業準備金	1,500,000		
退職給与引当金	6,222,631		
設備緊急引当金	4,455,478		
固定負債合計		12,178,109	
負債合計			14,787,819
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		12,017,005	
当期正味財産増減額		491,004	
正味財産合計			12,508,009
負債及び正味財産合計			27,295,828

財産目録

特定非営利活動法人S Tスポット横浜

平成29年3月31日現在

科 目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	343,630		
住信SBIネット銀行 法人第一支店 普通	9,927,513		
三菱東京UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	2,666,043		
三菱東京UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	6,222,631		
三菱東京UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	1,442,533		
静岡銀行 横浜支店 普通	4,455,478		
未収入金			
独立行政法人日本芸術文化振興会	898,000		
仮払金			
つり銭	80,000		
流動資産合計		26,035,828	
2. 固定資産			
(1) 投資その他の資産			
敷金			
住友信託銀行(株)	1,260,000		
固定資産合計		1,260,000	
資産合計			27,295,828
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
源泉所得税	584,610		
仮受金			
横浜市	2,025,100		
流動負債合計		2,609,710	
2. 固定負債			
企画連携事業準備金	1,500,000		
退職給与引当金	6,222,631		
設備緊急引当金	4,455,478		
固定負債合計		12,178,109	
負債合計			14,787,819
正味財産			12,508,009